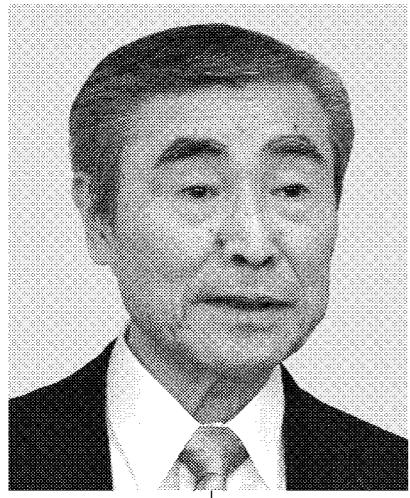


各社トップが強い意欲示す



オーケマ
社長 花木義磨氏

自己完結型の一貫生産

リードタイムの半減へ

—2012年の工作機械受注額は3年ぶりの前年割れとなりました。日本工作機械業会は13年の受注額について、1兆3000億円を目指すとしています。

「1兆3000億円の目標は達成できると思う。足元の状況は厳しいが、米国は自動車の販売が伸びてきている。航空機も調整だ。エネルギー関連業もシェールガス関連の好影響で順調だ。13年の米国の景気は上向くだろう。欧州はいろいろなが、これから底を打つ、緩やかな伸びが期待できる。東欧や北欧、ロシアも動き出している。航空機も調整だ。エネルギー関連業もシェールガス関連の好影響で順調だ。13年の米国の景気は上向くだろう。欧州はいろいろなが、これから底を打つ、緩やかな伸びが期待できる。東欧や北欧、ロ

シアも力を付けてきており、中国全体では堅調に推移するだろう」

「工作機械の最大の消費国である中国も、新体制になり景気浮揚策としてインフラ関連の整備に

—2012年の工作機械受注額は3年ぶりの前年割れとなりました。日本工作機械業会は13年の受注額について、1兆3000億円を目指すとしています。

「1兆3000億円の目標は達成できると思う。足元の状況は厳しいが、米国は自動車の販売が伸びてきている。航空機も調整だ。エネルギー関連業もシェールガス関連の好影響で順調だ。13年の米国の景気は上向くだろう。欧州はいろいろなが、これから底を打つ、緩やかな伸びが期待できる。東欧や北欧、ロ

シアも力を付けてきており、中国全体では堅調に推移するだろう」

「工作機械の最大の消

費国である中国も、新体

制になり景気浮揚策とし

てインフラ関連の整備に

近づかせない

「為替は円安方向に振

れていました。グローバル

戦略への影響は。

「既に日本のモノづく

りは海外で生産する体制

度になつても、この間の

円高が半分戻つたにすぎ

ない。国内の製造業に

つては、現在はまだまだ

円高の状態にあると思っ

ては、今後も円高をはじ

めた為替が12年に80円を切

るまでも高くなつた。これ

が仮に1ドル=100円程

みの1兆2000億円を

なんとしても達成して

ければ日本工作機械工業

会が目標額としている1

—2013年の展望は、「12年は業界全体で受注高が前年を下回った。特に秋以後の受注が落ち込んだ。13年も前半は苦戦を予想している。各市場の先行きを見通すのは非常に難しいが、今後の中国、欧州の回復時期が全体の市場動向を左右すると思う。ただ、どちらの市場も底は打っているので、13年後半までに向くと見ている。内需に

関しては、新政権がスタートして新政策による景気回復効果が出てくるだろう。特に設備投資面で効果が本格化することを期待している。13年の業界全体の受注額は12年並

—2012年の工作機械受注額は3年ぶりの前年割れとなりました。日本工作機械業会は13年の受注額について、1兆3000億円を目指すとしています。

「1兆3000億円の目標は達成できると思う。足元の状況は厳しいが、米国は自動車の販売が伸びてきている。航空機も調整だ。エネルギー関連業もシェールガス関連の好影響で順調だ。13年の米国の景気は上向くだろう。欧州はいろいろなが、これから底を打つ、緩やかな伸びが期待できる。東欧や北欧、ロ

シアも力を付けてきており、中国全体では堅調に推移するだろう」

「工作機械の最大の消費

国である中国も、新体制になり景気浮揚策とし

てインフラ関連の整備に

近づかせない

「為替は円安方向に振

られています。グローバル

戦略への影響は。

「既に日本のモノづく

りは海外で生産する体制

度になつても、この間の

円高が半分戻つたにすぎ

ない。国内の製造業に

つては、現在はまだまだ

円高の状態にあると思っ

ては、今後も円高をはじ

めた為替が12年に80円を切

るまでも高くなつた。これ

が仮に1ドル=100円程

みの1兆2000億円を

なんとしても達成して

ければ日本工作機械工業

会が目標額としている1



ヤマザキマザック
社長 山崎智久氏

海外現地開発に力

製品投入のスピードアップ

ヤマザキマザックを構築している。1ドル=100円程度の円安になったところで、それを放棄して日本に戻つてくるとは思えない。5~6年前に1ドル=100円程度だった為替が12年に80円を切るまでも高くなつた。これが仮に1ドル=100円程

めとする為替変動のリスクを緩和し、海外マケットでの競争力を強化するため、引き続き海外工場での生産機種、台数の拡充を行っていく

具体的にはどのような施策を行いますか。海外工場での現地開発を図っていく

コサルティングの機能を併せ持った「テクノロジーセンター」を世界に予定だ。今後もこうしたトータルソリューションの提供をグローバルな機

械設備を入れて一部で産設備を始めで一部でストレートを始めた段階だ。この開発力をもって、商品投入のスピードを上げることで、高いことで、商品開発で注力する

内、11機種が現地開発だ。一方で、近年は地域ごとに要求される機械の仕様が違ってきており、单一仕様の機種は販売が難くなっている。地域ごとに工作機械の使われ方が違い、同じジャンルの製品でも必要とされる機能や操作性が異なる。それに全部必要なようにすれば、隣接する機種を増やす。そういう工夫を、製品の設計開発の段階で進めていく

DMG / MORI SEIKI

高剛性・高精度CNC旋盤

NLX SERIES フルラインアップ完成

極少熱変位

超高速性
BMT[®]
10,000 min⁻¹

最新MAPPS IV

最新パッケージ
・バーフィーダ
・ガントリローダ
・ロボット
・超高精度

極低振動

超高剛性

超軽量ドア
(ドアアシスト)

BMT: Built-in Motor Turret

MORI SEIKI

株式会社 森精機製作所

www.morseiki.com

Mazak